

資料 4－3 報告事項 1

都市計画原案に対する意見の要旨について

1 縦覧、意見書の提出

東京都市計画特別工業地区原案を令和 2 年 1 1 月 1 6 日から 4 週間、公衆の縦覧に供したところ、縦覧者・意見書の提出共になかった。

2 公聴会に代わる説明会の意見の要旨

東京都市計画特別工業地区原案を令和 2 年 1 1 月 3 0 日、1 2 月 3 日及び 1 2 月 5 日の 3 日間、合計 6 回の公聴会に代わる説明会を開催したところ、合計 1 5 名出席し、4 件の意見があった。意見の要旨及び区の見解は以下のとおりである。

(1)開催概要

1 1 月 3 0 日 (月) 1 4 時～1 5 時 3 0 分	高島平地域センター	4 名	2 件
1 1 月 3 0 日 (月) 1 9 時～2 0 時 3 0 分	舟渡地域センター	3 名	0 件
1 2 月 3 日 (木) 1 4 時～1 5 時 3 0 分	志村坂上地域センター	7 名	2 件
1 2 月 3 日 (木) 1 9 時～2 0 時 3 0 分	舟渡地域センター	0 名	0 件
1 2 月 5 日 (土) 1 0 時～1 1 時 3 0 分	高島平地域センター	1 名	0 件
1 2 月 5 日 (土) 1 4 時～1 5 時 3 0 分	志村坂上地域センター	0 名	0 件

(2)意見の要旨

名称	意見の要旨	板橋区の見解
東京都市計画 特別工業地区 (参考意見)	板橋区は特別工業地区の見直し、都市づくり推進条例等の複数の政策を並行して進めていて良く頑張っている。新たな規制を追加するのではなく、現状を容認してそれに合わせた対抗策を考えるという緻密な計画に	板橋区は、平成 3 0 年 3 月に策定した「板橋区都市づくりビジョン（都市計画の基本的な方針）」に基づき、都市づくりを推進しております。 平成 3 1 年度には、特別工業地区の見直しに着手し、工業系用途地域の土地利用の在り方方

	<p>沿った良い政策を考えたと思う。</p>	<p>針をまとめ、特別工業地区原案を策定しました。</p> <p>また、同時期に都市づくり推進方策の検討に着手し、令和2年10月23日に東京都板橋区都市づくり推進条例を公布し、令和3年4月1日より施行します。</p> <p>今後も板橋区都市づくりビジョンに基づき、都市づくりを推進したいと考えています。</p>
	<p>IT 化の促進に向けた補助金など、商工会でもあるが、区との連携があまりできていない。また、IT 化に向けた区としての見解が分からない。工場の IT 化を促進する施策があるとよい。</p>	<p>特別工業地区は、工場の業種による規制又は緩和を行う制度です。</p> <p>工場の IT 化については、国の支援策や IT 導入補助金、都振興公社の ICT ツール導入助成金、さらに区産業振興公社のテレワーク機器等の助成金など、企業や工場での IT 導入による生産性向上のための施策により支援していきます。</p>
	<p>舟渡、新河岸地区は、区役所等のある方向に来る上での交通利便性が低い。板橋区は、都心方向への便はよいが、区内での交通には不便性があり、改善していただきたい。</p>	<p>区内の鉄道は都心・副都心方向に発達しており、バスは区内のほぼ全域で運行しております。交通環境の改善としては駅の乗換機能の充実やタクシーの活用を検討する等既存の交通資源を上手く利用できるような交通事業者等と共に研究していきます。ご意見は今後の交通政策の参考とさせていただきます。</p>
	<p>舟渡、新河岸地区は、荒川の氾濫があると7mの浸水が起きるとニュースで聞いた。この地区に立地する建</p>	<p>高台まちづくりは、国や東京都も検討を進めており、板橋区を含めた荒川沿川7区の浸水対策は大きな社会問題となって</p>

	<p>建築物の大半が工場かと思うが、浸水対策についてどのようにお考えか。</p> <p>また、浸水対策として、高台への移転なども検討したいが、移転の際には助成金等の支援はあるか。BCPに関連した面でいうと、工場復興するために、電気・水道・ガス、特に電気が一番大事であり、そうした対策はあるのか。</p>	<p>います。</p> <p>そのうち、舟渡・新河岸地区については、「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」における「モデル地区」として選定し、国土交通省、東京都、地域と一体となった対策を検討するとしております。</p> <p>なお、高台移転等の支援策の拡充については、国に要望していきます。</p>
--	---	---